

## 平成27年度事業計画（案）

社会福祉法人 西予総合福祉会

### I. 基本理念

老人に生きがいを  
障がい者には希望を  
子どもには大きな夢を

### II. 基本方針

西予総合福祉会は、老人、障がい者、子ども、そして地域社会と「共に生き、共に歩み、共に育つ」を行動の指針として、基本理念を支える三つの力「顧客の満足」「職員の満足」「経営の満足」の向上に取り組めます。

- (1) 老人、障がい者、子どもの尊厳を守り、多様化する社会の要請に応じ、関わるすべての方々の福祉ニーズを的確に捉え、安心・安全な福祉サービスを展開します。
- (2) 福祉活動の財産は人であるとの考えに基づき、利用者中心の福祉実践、専門性の高い職員集団作り、職員の処遇整備を行い、人材育成に努めます。
- (3) 業務改善、経営の効率化、計画的な見直しのある施設整備をし、健全経営を保ちます。
- (4) 地域に支えられ必要とされる法人として、社会に貢献できる施設運営に取り組めます。

### III. 重点目標

#### (1) 「顧客の満足」のために

1. 社会福祉法人の存在意義を自覚し、これまでに培ったノウハウや経験、専門人材や施設、設備を生かし、地域ニーズに対応する社会貢献活動を推進する。
2. 防災・危機管理対応マニュアル（法人本部）を周知し定着化を図るとともに、施設ごとに大規模災害に対応する事業継続計画の策定を行う。
3. リスクマネジメントマニュアル（各施設）が適切に運用されているか内部監査を実施するとともに、あらためて7月15日を「安全を考える日」として全職員に浸透させる。
4. 誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステム構築に向けて検討を行う。
5. 法人中長期計画における中期計画検証結果を基に、抽出された課題や問題点を整理し改善策を検討し実践する。

#### (2) 「職員の満足」のために

1. 新人事制度が有効に機能しているか検証を行い、働きがいを感じられる評価制度として適切に運用されるよう制度の確立を目指す。
2. メンタルヘルス対策として、心の健康づくり計画をもとにし面接指導の仕組みや相談体制など職員が相談しやすい環境づくりを整備する。
3. 職員のスキルアップを図るため積極的に研修講座に参加させるとともに、資格取得を目指す職員を支援するため各事業部調査研究費等を活用し助成制度を充実させる。
4. 働きやすい職場環境を目指し、適切な休憩時間の確保や時間外労働が削減できるよう職場全体で検討し実践に結び付ける。

5. 人材育成は職場全体で行うこと、育てられる側、育てる側双方に責任があるという意識のもと、より成長が実感できる組織風土づくりに取り組む。

(3) 「経営の満足」のために

1. 法人組織運営の大前提であるMDCVS（使命、事業領域、中核的価値観、希望する姿、戦略）を明確にし、全職員に周知し共通の認識として浸透させる。
2. 西予市から事業譲渡された養護老人ホーム三楽園の運営が安定的に行えるよう努め、入居者が安心して利用できる環境を整える。
3. 児童養護施設ひまわりの家の移転新築計画を推進するとともに、情緒障害児短期治療施設の開設に向けて体制を整える。
4. 就学支援制度の認知度を高め活用率の向上を図るとともに、学校訪問や就職セミナー等に積極的に参加し法人の魅力を伝え人材の安定的確保につなげる。
5. 各施設の財務状況を的確に把握し経営課題を明確にするために、経営指標項目を定め定期的に財務分析が行える仕組みを整える。

#### IV. 数値目標

- (1) 地域社会とともに歩む社会福祉法人をめざして、地域で必要とされる社会貢献活動を1施設1実践行う。
- (2) 定年退職者を除く正職員の離職率を5%以下とする。
- (3) 継続的な事業運営のために必要な資金として、前年度繰越金の110%を確保する。

V. 会議の開催予定

- (1) 理事会 (5, 10, 3月及び必要がある場合は、その都度)
- (2) 評議員会 (5, 10, 3月及び必要がある場合は、その都度)
- (3) 監査会 (5月及び必要がある場合は、その都度)
- (4) 事業部長会 (毎月及び必要がある場合は、その都度)
- (5) 施設長会 (毎月及び必要がある場合は、その都度)

VI. 法人委員会組織

- (1) 社会貢献活動委員会
- (2) 広報委員会
- (3) 人材育成委員会
- (4) 福利厚生委員会
- (5) 人事制度改定委員会 (働きがい向上プロジェクト)
- (6) 地域包括ケアシステム委員会 (人の輪システム委員会)
- (7) メンタルヘルス対策委員会
- (8) リスクマネジメント委員会